

大谷學報

第三十四卷 第一號

昭和二十九年六月二十日發行

緣起の時間論的解釋……………佐々木現順…(一)

鷗外の歴史小説(三)……………大庭米治郎…(三〇)

アレクサンドロスと佛教……………佐々木教悟…(四七)

—ラモート教授の最近の研究について—

眞宗同學會大會紀要……………(六〇)

新刊紹介……………(七四)
彙報……………(七五)

開講學科目……………(七七)
卒業論文題目一覽……………(八七)

大 谷 大 學

大 谷 學 會

前 號 目 次

翁覃溪本宋拓化度寺碑について……………	中田勇次郎
鷗外の歴史小説（一）……………	大庭米治郎
大谷學會秋季大會紀要	
英國 Pali Text Society の近業素描…佐々木現順——	
特に Pali Triṭīkaṁ Concordance——	

次 號 豫 告

輪廻の思想的根據……………	雲井昭善
「十住毘婆沙論」研究序説……………	上杉思朗
ぬけだした かな文字……………	水田紀久
—— おくりがな史の一斷面——	
北陸に於ける一向一揆……………	北西弘
—— 享祿の錯亂を中心として——	

THE
OTANI GAKUHO
(THE JOURNAL OF
BUDDHISM AND CULTURAL SCIENCE)

CONTENTS

Articles :—

The Interpretation of “engi” (pratityasamutpāda)

according to the Theory of TimeGenjun Sasaki

Ōgai Mori and His Historical Romances (III)

..... Yonejirō Ōba

On “Alexandre et Le Bouddhisme,” the Recent

Work by Professor Etienne LamotteKyōgo Sasaki

The Annual Report of the Shinshū Dōgakkai

Book Reviews

Reports

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
THE OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN.

大谷學會會則

第一條 本會を大谷學會と稱し、事務所を大谷大學内に置く

第二條 本會は佛教學・哲學・史學・文學並びにこれに關連する諸般の研究及びその發表を目的とする

第三條 本會の會員は大谷大學教職員・學生及び本會の趣旨に賛同する者とす

第四條 本會は左の事業を行う
一、「大谷學報」(年四回)及び「大谷大學研究年報」を發行する

二、毎年春秋二回公開講演會を開く
三、隨時研究會を開催する
四、その他圖書の出版等必要な事業を行う

第五條 本會に左の役員を置く
一、會長 一名

二、理事 二名
三、委員 十名

第六條 役員は左の通り定める
一、會長は本會を代表し、會務を統

理する

二、理事は會長を輔佐する
三、委員は編集・庶務・會計の事務を分掌する

第七條 役員は選出及任期を左の通り定める
一、會長は大谷大學々長がこれに當る

二、理事は大谷大學々務部長並びに庶務部長がこれに當る
三、委員は大谷大學教授・助教授の互選により、その任期は二年とする

第八條 會員は「大谷學報」及び「大谷大學研究年報」の配布を受け、本會主催の會合に出席する事が出来る

第九條 會員は會費として年額金五百圓を納めるものとする
第十條 本會則は大谷大學教授會の決議によらなければ變更する事が出来ない

附則 本會則は昭和二十七年四月一日から實施する
以上

大谷學會役員

會長 山口 益

理事 多屋頼俊 中島正賢

委員 池田義祐 稻葉秀賢 横超慧日

杉平顯智 中田勇次郎 名畑應順

野上俊靜 藤島達朗 三品彰英

山田亮賢

補助委員 齊藤敏明

會計委員 吉田嘉一郎

昭和二十九年六月十五日印刷
昭和二十九年六月二十日發行

編集兼 發行者 多 屋 頼 俊

印刷者 西 村 七 兵 衛

京都市上京區小山上總町
大谷大學内

發行所 大 谷 學 會